

宮城県感染症発生動向調査情報(第5週)

宮城県【平成27年02月05日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2015.1.26 ~ 2.1 ・ 第5週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第2週	第3週	第4週	第5週
水痘	6 1.20	16 1.60	3 0.60	1 0.50	3 1.00	3 0.60	1 0.50	12 0.46	45 0.78	223	○ →	○ →	○ →	○
流行性耳下腺炎								7 0.27	7 0.12	32	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	100 20.00	116 11.60	49 9.80	27 13.50	33 11.00	60 12.00	14 7.00	363 13.96	762 13.14	2,859	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病				1 0.50		1 0.20		10 0.38	12 0.21	54	→	→	→	
伝染性紅斑	11 2.20	10 1.00	12 2.40		2 0.67	6 1.20		26 1.00	67 1.16	346	○ →	◎ →	◎ →	◎
突発性発しん	1 0.20	5 0.50	1 0.20		2 0.67	2 0.40	2 1.00	13 0.50	26 0.45	121	○ →	レ →	○ →	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	284 35.50	336 22.40	269 33.63	67 22.33	140 28.00	560 70.00	170 42.50	960 22.86	2786 29.96	12,995	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱		1 0.10		1 0.50				8 0.31	10 0.17	50	→	→	→	
流行性角結膜炎		1 0.33	1 1.00					1 0.17	3 0.25	7	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12 2.40	31 3.10	1 0.20	3 1.50	5 1.67	17 3.40	1 0.50	87 3.35	157 2.71	548	○ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00		2 2.00		5 5.00	1 0.20	9 0.75	41	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	5 1.00		3 0.60	1 0.50	3 1.00	5 1.00		13 0.50	30 0.52	216	○ →	○ →	レ →	○
拡大疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2		3			1			◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
	川崎病										【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/			
	不明発疹症							1						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			2				1	3	65				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
 - 栗原管内 女性1名
 - 仙台管内 女性1名
- 3類感染症: コレラ
 - 仙南管内 男性1名
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: アメーバ赤痢
 - 仙台管内 男性1名(第4週)
 - 梅毒
 - 仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 16例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- 【感染性胃腸炎】
仙南管内で警報値を超えた
- 【伝染性紅斑】
仙南、大崎、石巻管内で警報継続中。
- 【インフルエンザ】
仙南、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、仙台管内で警報継続中。
塩釜管内で注意報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

- 感染性胃腸炎集団発生事例より
 - 石巻管内 第4週採取分 ノロウイルスG II 3件
 - 栗原管内 第5週採取分 A群ロタウイルス 3件
- 感染性胃腸炎患者より
 - 塩釜管内 第52週採取分 サボウイルス 3件
 - 第2週採取分 ノロウイルスG I 1件
 - 第2週採取分 ノロウイルスG II 1件
 - 第2週採取分 サボウイルス 1件
- インフルエンザ患者より
 - 大崎管内 第2週採取分 インフルエンザウイルスAH3 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

- | | 第3週採取分
(1.12～1.18) | 第4週採取分
(1.19～1.25) | 第5週採取分
(1.26～2.1) |
|------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|
| インフルエンザウイルスA(H3) | 1件 | 0件 | 0件 |
| バラインフルエンザウイルス4型 | 1件 | 0件 | 0件 |
| RSウイルス | 4件 | 1件 | 1件 |
| 単純ヘルペスウイルス | 0件 | 0件 | 1件 |

- 【感染性胃腸炎】
県全体の患者報告数は横ばいですが、仙南管内で警報開始基準値(1定点当り20人)を超えました。集団発生事例からのノロウイルスの検出が相次いでおり、手洗いの徹底や糞便・吐物の適切な処理が必要です。下記HPを参照・活用ください。
・厚生労働省 ノロウイルスに関するQ&A
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

【インフルエンザ】

- 県全体の患者報告数は前週に比べ減少しましたが、仙南、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼、仙台管内では警報継続中です。例年の傾向から、流行はまだ続くものと思われまので、引き続き日常的な予防を心がけてください。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2015年 第1週		19.6	18.9	12.5	6.1	11.6	11.4	7.2	5.7	3.2	1.6	2.3	1140
第2週		23.6	18.8	10.7	4.4	9.1	9.1	9.4	7.0	3.8	2.2	1.9	2760
第3週		22.1	30.2	16.6	3.6	5.2	7.6	4.8	3.5	3.0	1.6	1.8	2764
第4週		19.6	35.4	21.3	3.2	3.0	5.9	4.1	2.8	2.1	1.1	1.4	3545
第5週		20.6	35.4	20.9	2.5	3.2	5.5	4.2	3.2	2.0	1.6	0.9	2786

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第3週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当り報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では宮城県(99.58)、沖縄県(84.78)、熊本県(73.59)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,750例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(79例)、1～9歳(308例)、10代(49例)、20代(28例)、30代(25例)、40代(44例)、50代(65例)、60代(153例)、70代(303例)、80歳以上(696例)であった。**RSウイルス感染症:** 報告数は2,181例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当り報告数は2週連続で増加した。都道府県別では石川県(4.93)、鳥取県(4.37)、山形県(3.73)が多い。**感染性胃腸炎:** 定点当り報告数は減少した。都道府県別では福井県(12.00)、宮崎県(11.11)、熊本県(10.62)が多い。**水痘:** 定点当り報告数は減少した。都道府県別では鹿児島県(0.98)、佐賀県(0.96)、福岡県(0.88)が多い。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当り報告数は減少した。都道府県別では富山県(2.40)、石川県(1.00)、静岡県(0.80)、香川県(0.80)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当り報告数は増加した。24都道府県から68例報告があり、年齢別では0歳(16例)、1～4歳(43例)、5～9歳(6例)、50代(1例)、70歳以上(2例)であった。

※ 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当り報告数